



第 25 回 ASEAN+ 3 経済大臣会合  
2022 年 9 月 17 日、カンボジア シェムリアップ

共同メディア声明 (仮訳)

1. ASEAN 加盟国 (AMS)、中華人民共和国 (以下「中国」)、日本、大韓民国 (以下「韓国」) は、2022 年 9 月 17 日に第 25 回 ASEAN+3 経済大臣会合を実施した。会合は、カンボジア王国のパン・ソラサック商業大臣、中国の李飛商務部部長助理、日本の平井裕秀経済産業審議官、韓国のアン・ドクン産業通商資源部通商交渉本部長が共同議長を務めた。
2. 会合は、ASEAN と日中韓三か国間の貿易が 2021 年には 25.1%の増加を記録し総額 1 兆 980 億ドルに達することに留意した。また、日中韓三か国から ASEAN への海外直接投資 (FDI) は、2021 年に 326 億 5000 万米ドルとなり、対 ASEAN 域内の FDI 総額の 25.4%を占めた。
3. 会合は、COVID-19 後の経済回復が、世界経済の困難に対して依然として脆弱であることに留意した。会合は、世界的な食料及びエネルギー安全保障に対する継続的なリスク、並びにインフレ圧力の高まりに対して深い懸念を表明した。
4. 会合は、「ASEAN 包括的復興枠組み」 (ACRF) 及び「COVID-19 感染拡大による経済的影響の緩和に関する ASEAN+3 行動計画」への強力な支援と、COVID-19 パンデミックの影響への対処・緩和、及び地域の回復推進に向けて、緊密に連携することへのコミットを再確認した。会合は、ASEAN 地域の強靱性実現に向けた緊急及び長期的なニーズに応えるため、ASEAN COVID-19 対応基金、ASEAN 地域医療物資備蓄、ASEAN 感染症対策センターの設立を歓迎した。また、会合は、パンデミックによる傷跡を軽減し、包摂的で持続的なポストパンデミックの回復を達成するために、ASEAN+3 緊急米備蓄や ASEAN+3 実地疫学トレーニングネットワーク等の、既存の ASEAN+3 の取組への支援を改めて表明した。
5. 会合は、「ASEAN+3 経済協力作業プログラム (ECWP) 2023-2024」を承認し、「ECWP 2021-2022」実施の進捗に留意した。会合は、ASEAN+3 諸国間の経済協力が、零細・中小企業の実力強化、貿易円滑化の推進、デジタル経済の発展の促進、サプライチェーン強靱化への貢献、ASEAN+3 研究機関同士の共同研究活動における協調の強化、及び相互利益分野における協力の追求において、引き続き好ましい結果をもたらしていることに留意した。
6. 会合は、東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) と ASEAN 事務局が実施した「零細・中小企業におけるデジタルデバインド縮小のための ASEAN+3 研究プロジェクト」を歓迎した。この取組は、零細・中小企業における、インフラの連結性、

市場へのアクセス、デジタルスキル、資金調達能力の格差を縮小するために、デジタルツールやソリューションが重要であることを強調している。会合はこの調査を歓迎し、ASEAN+3 地域のポストパンデミックの経済回復におけるデジタル化の重要性、特に、デジタル・スタートアップの立ち上げや、イノベーション及び起業家活動のためのデジタルソリューションの導入等を可能とすることによる、零細・中小企業の強靱性の構築に向けた重要性を強調した。

7. 会合は、2022年6月12日から17日にかけてスイスのジュネーブで開催された第12回世界貿易機関閣僚会議（WTO MC12）の成功裏の結果を歓迎した。会合は、MC12 でなされた一連の決定、すなわち「ジュネーブ・パッケージ」が、WTO の再活性化及び多角的貿易体制に対する国際社会の信頼の向上に大きく寄与するとの楽観的な見方を表明した。WTO の全ての機能改善、特に 2024 年までに全ての加盟国が利用できる完全かつよく機能する紛争解決制度の実現のために、そして、WTO がその目的に適って前向きなものであり続けるために、WTO 改革の必要性を強調しながら、会合は、WTO を中核とする、ルールに基づく、非差別的で、開放的で、自由で、公正で、包摂的で、公平で、透明な多角的貿易体制に対する支持をあらためて表明した。

8. 会合は、インドネシアが「Recover Together, Recover Stronger」をテーマに G20 議長国を務めること、及びタイが「Open, Connect, Balance.」をテーマにアジア太平洋経済協力（APEC）議長国を務めることへの支持を表明した。会合は、これらのプロセスが、全ての参加国・エコノミーにとって、世界と地域の集合的な課題に共同して取り組むこと、及び平和、繁栄、持続可能で包摂的な発展を全ての国民にもたらすために必要な努力を行なうことに向けて、特有の機会を提供することに留意した。

9. 会合は、東アジアビジネスカウンスル（EABC）による、サプライチェーン強靱化の促進及び COVID-19 の中での国境を越えたビジネスの連結性の円滑化に加えて、東アジアにおける持続的な経済成長に向けて、貿易、包摂性、デジタル連結性の促進による COVID-19 からの経済回復の推進を含む提言を歓迎した。会合は、ASEAN アクセスポータル（AAP）と EABEX を相乗的に活用するための協調を歓迎した。会合は、EABC と ASEAN 事務局が共同で開催した「Unlocking RCEP for Business」ウェビナーシリーズの成果を称賛した。このウェビナーシリーズは、RCEP 協定について民間セクターによりよく情報を提供し、ASEAN+3 各国による協定の活用を促すための重要なプラットフォームである。

\*\*\*\*\*